

せいらんそう

社会福祉法人
会誌号
芳香報 3
第 2007年11月発行



世話人の方と一緒に食事の準備ができました。さあ、これからみんなで夕食です。

もくじ

CONTENTS

地域の中で暮らす

- グループホーム紹介・・・2
- 障害者の地域生活を目指して
ケアホーム準備状況・・・3
- 地域移行プロジェクト・・・3
- 障害者移送サービス・・・3
- 居宅介護・
重度訪問介護事業・・・3

地域の皆様とともに

- 絵本の会 紹介・・・4
- イトーヨーカドー
出張販売 紹介・・・4
- 芳香会のとりくみ
託児所紹介・・・5
- 苦情受付体制
運営委員会・・・5

個人情報保護

- 運営委員会・・・5

- 芳香会活動報告・・・6
- 芳香会スケジュール・・・6
- 編集後記・・・6



地域の中で暮らす

グループホーム紹介

芳香会では、地域の中で生活を送りたいご利用者の希望を支援するため、グループホームを結城市と古河市（旧三和町）の二カ所で運営しております。

今回は知的障害者の「ふきのとう」と、認知症高齢者の「穂の香」をご紹介します。

ふきのとう

ふきのとうは平成十五年四月に旧三和町の諸川で開設されました。

ご利用になる対象の方は、ふきのとうでの生活を希望され、尚且つ障害福祉サービス受給者証を交付された十五歳以上の知的障害者の方が対象となります。

ご利用者の生活を支えるのは世話人と呼ばれる職員です。朝夕の食事作りや日々の健康管理、日常生活における相談・援助を行っております。また、シルバー人材センターの登録者の協力も得まして、ご利用者の生活を支援していただいております。

現在、男性のご利用者四人の方が入所されており、それぞれ民間の企業一人、当法人内施設二人と、三人が働いており、もう一人は路のと

う舎の通所事業へ通われており、それぞれ日中業務や活動に勤しんでおります。帰宅後または休みには洗濯や掃除、食器洗い等の家事を行うのもちろんのこと、毎日飲む薬の管理も自分で行います。共同の場所に関しては当番制にして協力しながら生活を送られています。また、近所の清掃活動や当番も地域の一員として積極的に参加しております。ご近所の方々と良い関係が築かれていく様子でした。



穂の香

穂の香は平成十七年四月に結城市の七五三場に開設し主治医から認知症と診断を受け、その上要介護認定で要介護1〜5と受けられたご利用者が入所して日々生活を送られる所です。

現在、見守りや声掛けにて生活のことが行える程度の認知症である男性二人、女性七人、計九人のご利用者が入所され生活を送られております。年齢では、平均年齢八十五歳であり、最高齢の方で九十六歳の方も入所されております。居室にはご自分で使用していたタンスや鏡台を持ち込まれ、環境が自宅に近いよう配慮されております。

食事の準備や片付け、掃除は利用者職員が協力して行っております。それ以外の時間では日々の天気やご利用者の体調をみて公園や買い物へ外出されることもあり、ご利用者の希望に沿って日々の生活が送られております。

管理者である窪施設長は「穂の香は建物が住宅地から離れているので、おのずと地域と関わるといことが難しいところがあります。なので地域との関わりをどのように行っていくかは課題と言えます。しかし、ご利用者とご家族が求めている安心や医療について、芳香会が三十年以上の経験で培った方法を持っていくということは、私たちの強み。」と話しており、課題と向き合いつつ、ご利用者主体の生活を支えるために職員は取り組んでおります。



お問い合わせ先

【グループホームふきのとう】

古河市諸川九〇四 六

〇二八〇（七六）八七六六

【グループホーム穂の香】

結城市七五三場三六五

〇二九六（二〇）九〇三三



障害者の地域生活を旨として

平成十八年度に策定された茨城県障害福祉計画において、平成二十三年度までに福祉施設入居者の一割の方々を地域生活へ移行させるという目標値が設定されました。

そこで、当法人におきましても、施設入居者や在宅の障害者の地域生活を推進していく為、様々な活動を実施しております。その中からいくつかご紹介させて頂きます。

『ケアホーム』開設に向けて

地域生活への課題として家族との生活以外の障害者同士の生活をする住居として、芳香会では、平成二十年四月に、ケアホーム（共同生活介護）を開設予定のため準備をしております。

ケアホーム（共同生活介護）とは？

介護を要する、精神障害者・知的障害者に対し、主として夜間において、共同生活を行う住居において、入浴・排泄又は食事の介護等及び日常生活上の支援を行う事業です。

ケアホーム予定地は？

古河市下辺見四七四 一

近くにはスーパーやレンタルショップもあります。



ケアホームに入れる対象者と人数は？
定員十二人

- 1 階四人（車いすの方も可能）
- 2 階八人（ご自分で歩ける方）

芳香会のケアホームの特色は？

その1 車いすのご利用者でも安心

ケアホームは知的障害者・精神障害者に限られていますが、整備を行い、車いす利用の知的・精神障害者の利用も可能です。

その2 生活体験ルームを創設

在宅生活を希望されている方が、施設や自宅を出て在宅での生活を体験できる場を創設します。

日中の活動は？

ケアホームは夜間の生活の場となりますので、日中については、個人の望む生活をする事が出来ます。

（例）映画を観に行く
施設利用者と交流する

地域移行プロジェクト

芳香会の障害関係施設の入居者を対象に『施設から地域への移行』を支援する実践及び訓練プログラムを策定することを目的として、芳香会内でプロジェクトチームを発足させました。カンファレンスや自立訓練を実施し円滑な地域移行が出来るよう活動しております。

障害者移送サービス

地域生活を行っている障害者の方々にとって、目的地までどのような移動手段でたどり着けば良いのか、お困りの方々が多いかと思えます。障害者移送サービス（移送支援事業）は、地域生活支援事業の一つとして、市町村が実施します。芳香会では、古河市より委託を受け、青嵐荘療護園にて、実施しております。



居宅介護・重度訪問介護事業

地域で生活をされている障害児者のご家庭を訪問し、食事・入浴等の介護、調理・洗濯・掃除等の家事を支援するサービスです。青嵐荘訪問介護ステーション（総和）にて事業を展開しております。



お問い合わせ先

【青嵐荘療護園】

古河市上大野六九八

〇二八〇（九八）二七八一

地域の皆様とともに

現在、芳香会では、サービスを利用していただいている皆様の「生活の質の向上」を目指し、地域の民間企業のご協力を得ながら、様々な取り組みを行っております。

その中で、今回は『絵本の会』と『イトーヨーカドー出張販売』をご紹介します。

絵本の会

芳香会の障害関係施設（青嵐荘療護園・芳香会病院青嵐荘療育園・青嵐荘路のとう舎・青嵐荘つくし園）では毎年三回、「絵本の会」を開催しております。



この会は、絵本や紙芝居の読み聞かせを行うことで、絵本に対する親しみの醸成や楽しさを味わっていただくことを目的として企画され、障害関係施設で芸術教室を開催されていた河本悦子先生と、鈴木出版（東京都文京区）のご協力により行っております。平成十七年十二月からスタートし、すでに五回実施しており、毎回十人以上の方が参加しております。

鈴木出版は幼児教育・保育図書を中心に取り扱っている出版社で、会で使用している絵本は鈴木出版にて作成していただき、そこに青嵐荘路のとう舎の職員が加筆修正しております。そのため、通常の絵本よりも大きめのサイズで作られており、絵本を読み聞かせる



だけでなく、参加者が絵本のページ送りを体験したり、体を使って絵本の内容を体感できるような工夫されております。また、絵本を読んでいただいた後には、参加者が数グループに分かれ、話し合いながら絵本の内容に沿ったカード作りを行うなど、「聞く」「考える」「参加する」ことがバランスよく組み込まれている利用者参加型の会で、参加された方には毎回、好評を高くしております。

開始当初から自らの施設を出て、地域の公民館などの公共施設をお借りし、実施しております。今後は内容をより一層充実させ、地域の方々にも参加していただけるような会にしていきたいと考えております。

イトーヨーカドー出張販売

芳香会の結城地区（青嵐荘養護老人ホーム、青嵐荘特別養護老人ホーム）、上野地区（青嵐荘療護園、青嵐荘ケア・アシスタンス）では、平成

十六年四月よりイトーヨーカドー古河店から「出張販売」に来ていただいております。毎月一回、結城地区は特別養護老人ホーム一階で、上野地区は芳香会地域交流ホームにて行っております。毎回、出張販売の日には、トラックで商品が運び込まれ、二十台以上のテーブルの上に食品（菓子・果物など）や日用品・文房具・衣料品が陳列されます。十人以上の店員の方も来られ、イトーヨーカドーに来ていただけるような雰囲気です。



施設に入所されている皆様は、普段、外出をする機会が制限されてしまうこともあり、出張販売の日を心待ちにして、たくさんのお買物をされています。また、施設を退所し、在宅復帰・地域移行される方にとっては、お店に出掛けて必要な物を購入するということも、日常生活において欠かせないことです。そのため、会場にはレジスターも搬入していただき、その場で代金を計算し、利用者の方が現金でお支払いすることも大切な経験となっております。

イトーヨーカドー古河店へは毎月二回、芳香会の相談員が出向き、相談会や福祉に関するイベントなども開催させていただいております。このように、芳香会は地域の民間企業と様々な活動をとにもさせていただくことにより、少しでも地域の福祉力の向上に貢献したいと考えております。

芳香会の取組み

託児所 ひばり

「せいらんそう」創刊号でご紹介させていただきました通り、平成十九年四月に上野地区敷地内に託児所「ひばり」がオープン致しました。

この託児所は、「次世代育成支援対策推進法」に基づき芳香会内の計画策定委員会が立てた「次世代育成にかかると行動計画」の一環として開設

され、現在、芳香会に勤務する職員の一・二歳のお子さん三人が利用されています。

天気の良い日の午前中は敷地内の散歩に出掛け、外で砂遊びをします。午後はお昼寝をした後、お母さんがお迎えに来るまで、床板にむく木を使用した健康に配慮されたプレイルーム



で、みんなで仲良く遊びます。尚、隣接する芳香会病院には医師が常駐しているため、体調不良や怪我にも早急な対応が可能です。

この託児所を開設したことにより、子育てと仕事の両立を目指す職員の支援していきたいと考えております。



苦情受付体制 運営委員会



おける苦情の受付を促進するために設置されたのが「苦情受付体制運営委員会」です。五人の職員で構成されています。

施設に寄せられる苦情は、サービスを改善するためのきっかけを与えてくれるものでありますが、年々、苦情受付件数が減ってきているのが実情です。そこで、苦情が寄せられるのを待つだけではなく、苦情をいただくための様々な方策を考えるのがこの委員会の役割です。これまでに、苦情解決第三者委員による相談会や、異業種の苦情への対応について学ぶために、物販店から講師を招いての研修会を企画しました。

苦情から学ぶこと、気付かされることはたくさんあります。サービスの質を高めるために、これからも「苦情をたくさん寄せていただける施設」を目指していきます。



個人情報保護 運営委員会

近年、何かと話題の「個人情報保護」。特に多数のご利用者やご家族について他人が容易には知り得ないような個人情報や詳細に知り得る立場にある社会福祉分野は、個人情報の適切な取扱いが強く求められる分野です。

そこで、芳香会では、法人本部事務局長をはじめとした五人の職員による「個人情報保護運営委員会」を設置し、「個人情報管理規程」の策定や、セキュリティや情報漏えい対策についての研修会などを行っております。

全国的に見ると、情報漏えいの約半数はパソコンとその周辺機器などから起こっております。二百台近くのパソコンを保有している芳香会ではパソコンを通じての情報漏えいの対策には特に力を入れており、専門家を招いての研修会を開催しております。

当たり前のことではありませんが、幸いにもこれまで、情報漏えいなどの事件は発生しておりません。今後安心して芳香会のサービスを利用していただけるよう、「個人情報保護運営委員会」を中心に、万全を期していきます。





芳香会活動報告

イートヨーカドー出張相談会

敬老の日イベント開催!

六十歳以上の方を対象に、古河市シルバー八ビリ体操指導会の四人の講師の方に『介護予防体操』をご指導して頂きました。毎日、気軽にできる体操内容で、参加された皆さんにも簡単に覚えていただくことができました。

ご自宅でも体操を続けていただき、健康を維持して下さい。

開催日

九月十六日(日)

参加者

二十五人



平成十九年度実務研究発表会

サービス向上に向けた発表会

十月二十五日(木)に『実務研究発表会』を開催しました。隔年で開催し、五回目を迎えた今回は、日常業務の課題や研究の成果を五事業所の相談員や看護師、保育士が発表致しました。また、外部の審査員としては、東洋大学国際地域学部・中上教授と社会福祉法人ナザレ園(那珂市)菊池理事長をお招きし、貴重なご意見を頂きました。結果は、『最優秀賞』に青嵐荘養護老人ホームの発表「養護老人ホームの現状と課題」措置制度と契約制度の狭間で」が選ばれました。



芳香会スケジュール

ミニジョブキャリア

職場を体験してみよう!

介護職の先輩方に懇切丁寧な指導を受けることが出来ます。是非この機会に体験してみたいかがでしょうか。お待ちしております。

【受入期間】

平成十九年六月～十二月

【対象者】

近隣の専門学校 短期大学 四年生大学

【体験内容】

高齢者 障害児者分野の介護職

【参加費】

無料(交通費 食事等提供)

【応募方法】

法人事務局への電話及びホームページにてお申込み下さい。

二十年度新卒者採用試験及び施設見学会

今年度残り一回となりました。是非ご参加下さい!(詳細は法人事務局まで)

施設見学会 十二月 一日(土)
採用試験 十二月十二日(水)

その他の予定

十二月 十二日 【管理者研修会】
十二月 二十二日 【歓迎ボーリング大会】
十二月 二十六日 【内定者親睦会】
一月 十八日 【役付職員研修】

編集後記

先日、生涯初の入院・手術を経験しました。不安に襲われ、寂しさ募る日々でした。

「やっぱり自宅が一番。」今の率直な気持ちです。「利用者の地域移行・在宅復帰に全力を注ぐ。」今の大きな目標です。(酒)

近年、地域の中の一つながりが薄くなり問題となっており。しかし今後の高齢社会へ対応する為には地域の力は重要です。私たちの会報誌によって地域とのつながりがより密になるよう精進していきたいと思いました。(寺)

三才になる息子の運動会がありました。運動会での息子の頑張りや成長を見て感動し、同い年の子たちとの練習により成長出来たこととは私としても励みになりました。今後も息子と共に成長していきたいと思えます。(長)



社会福祉法人 芳香会

発行責任者/法人事務局 編集/会報誌作成委員会

〒306-0201 茨城県古河市上大野698

TEL 0280-97-1027(代) FAX 0280-97-1112

ホームページ <http://www.houkoukai.or.jp> メールアドレス honbu@houkoukai.or.jp

写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただいております。